

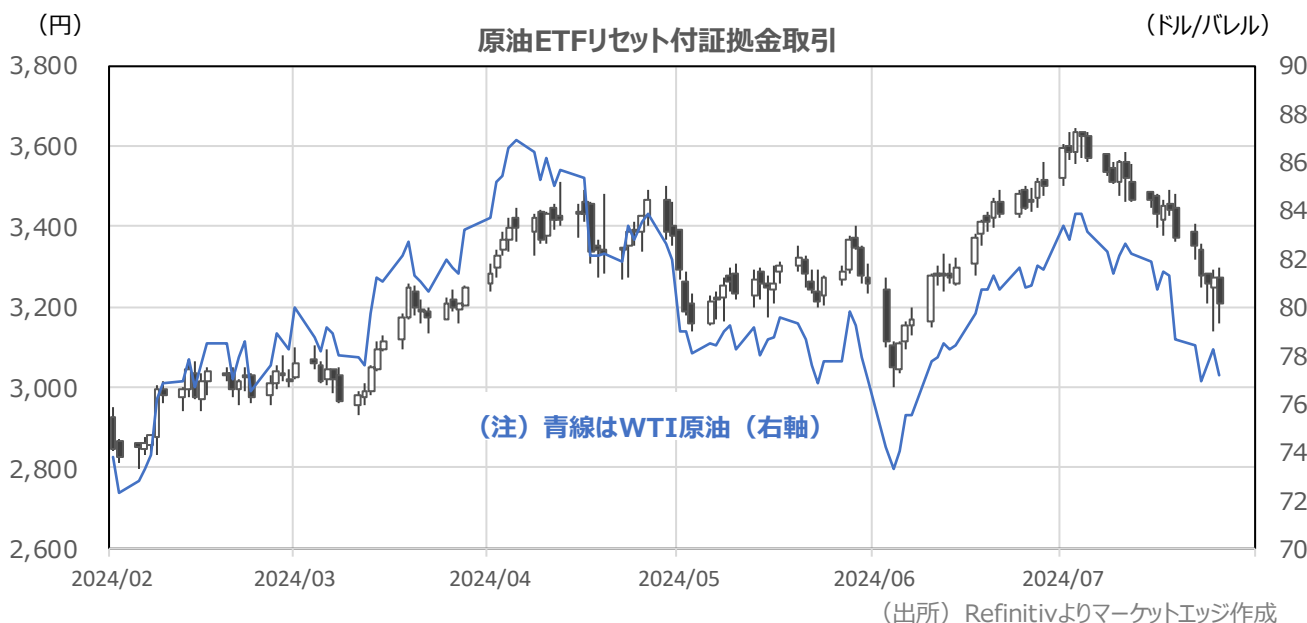
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/07/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



米原油在庫減少も、中国リスクで値下がり続く

NY原油先物相場は、1バレル=76~79ドル水準まで値下がりする展開になった。中国経済の減速懸念が根強く、他の産業用素材と連動して上値の重い展開が続いた。中国人民銀行（中央銀行）は7月22日に景気回復を促すために主要短期金利を引き下げたが、マーケットでは中国経済を下支えするのは困難との悲観的な見方を織り込んでいる。また、中東和平への期待感も原油相場にはネガティブ。イスラエルとハマスの停戦合意が近づいているとの見方から、ファンドが買い玉整理を進めている。6月10日以来の安値を更新した。

米原油在庫は4週連続で減少している。季節的な需要拡大を受けて、米国内需給が引き締まっていることが再確認できる。2月2日以来の低在庫環境はポジティブだが、マーケットの関心は高まらなかった。在庫減少と原油安が共存する環境が続いている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月19日時点）は、原油が前週374万バレル減、ガソリンが557万バレル減、石油精製品が275万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中国指標悪化だと上値重い、中東情勢にも要注意

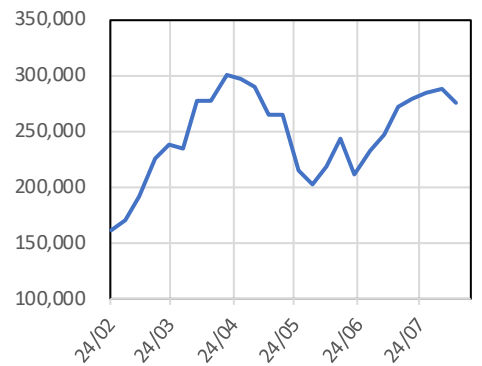
中国経済リスクの上値圧迫が続きやすい。80ドル割れでも押し目買いを入れる動きは鈍く、地合の悪さが窺える。7月31日と8月1日に中国の7月製造業PMIが発表されるが、中国経済の減速傾向を確認する内容になると、改めて売り圧力が強まりやすくなる。非鉄金属や鉄鉱石相場の値下がり傾向が続くと、原油相場も下振れリスクが維持されやすい。

また、中東和平への期待感も、原油相場の上値を圧迫している。前週はイスラエルのネタニエフ首相が訪米したが、イスラエルとハマスの停戦協議が進展しているとの見方が強い。依然としてガザ地区では激しい戦闘が続いているが、停戦協議に大きな進展がみられると、ファンドの買い玉整理の動きが加速しやすくなる。75ドル割れのリスクも想定しておくべき値位置になっている。

一方で、6月から7月上旬にかけて原油相場を押し上げてきたテーマは維持されている。夏の行楽シーズンで輸送用エネルギー需要が底固く推移する中、国際原油需給は引き締まっている。米原油在庫が更に大きく取り崩されると、押し目買いが膨らむ可能性がある。WTI原油は値下がりしているとはいえ、逆サヤ（期近高・期先安）環境が維持されていることにも注意が必要。

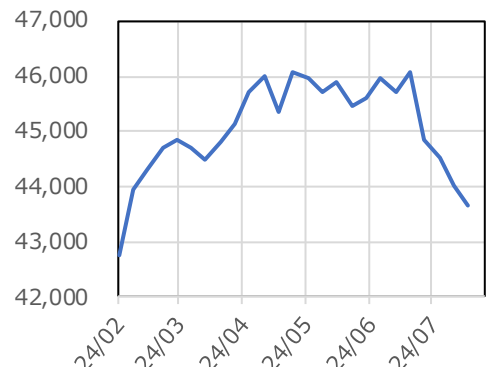
8月1日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）が開催される予定になっている。原油相場は値下がりしているが、現状では政策調整の可能性は低いとみられる。OPECプラスは9月まで現行の減産体制を維持し、10月以降に段階的な減産規模縮小（＝増産）を予定している。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



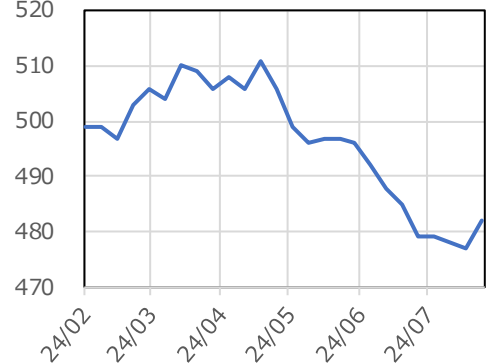
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

